医療安全

医療安全通信　第６６号

vol １０-１

金沢医科大学氷見市民病院
医療安全小委員会
2017 年 6 月 9 日 発行

回覧											

医療安全通信は、各部署で回覧サインし、保管お願いします。

髙田医療安全対策室室長から

今年からリスクマネージャーの名称をセーフティーマネージャーに変更いたしました。この意図は、今までの医療安全活動に加えて、新しい医療安全を作りたかったからです。
　火事を見つけて 119 番通報するのは、病院の中ではコード E に相当します。ボヤを見つけた時に、通報して頂ける医療安全を目指したいと考えています。

コラム　　Watching

神経内科　　富岳　亮

　この病院で働かせていただき 1 年になるが一番感じることは各職員の風通しが良いことである。「そうではないのだ」という方もおられようが、少なくとも小生にはそう映っている。医療安全に関しても、職種を超えてサポートしあえば素晴らしい取り組みになると考える。
　「これおかしいな」と思ったら、「これで問題ないでしょうか」といえる環境があり、いわれた方も素直に「ありがとう」といって再検討し、問題があれば訂正できる関係でありたい。少なくとも、小生は病棟でも外来でもそうやって皆様に助けていただいている。
　もう一つ大切なことは一杯一杯になった時、「今一杯一杯です」言えるかである。それが言える環境とは、ある人がそうなったときに周囲が多少考慮したり、手助けをしたりすることができるかである。そうでないと自分の限界を示すような発言をしなくなり、ミスにつながっていく。
　以上のようなことを述べると「自分は間違えないし一杯一杯になることはない」という方がおられようが、そう思った方はぜひ隣を見て危なそうだったら手伝ってあげていただきたい。そうすることにより医療事故も減ると信ずる。能力の限られている小生からのお願いである。しかし、サポートしてもらった方は、次は手助けや指摘が少なくなるようにしなければならない。そうでなければ医療安全の向上にはつながらない。
　では、安全な医療を提供するために今日も頑張ろう。

医療の現場から　　～　医療安全ラウンド　～

◎「安全」に対する意識の向上　◎医療現場におけるリスク抽出と改善　を目的に、医療安全管理者と小委員会委員が毎月各部署をラウンドしています。「安全な動線確保」「時間の捻出」のためにも、「５Ｓ」の取り組みは重要といえます。

整理された書庫

ラウンド風景

術前中止薬について　　薬剤部

　日本医療機能評価機構の医療安全情報 NO.125 より経口避妊薬の術前中止に関する情報提供がありました。経口避妊薬などの女性ホルモン剤には静脈血栓症のリスクが高まるため、周術期には注意が必要とされています。
　当院では、抗血栓薬については「安全管理体制の指針マニュアル」の 24 ページに記載がありますが、以下に一例を示しましたので、ご参照下さい。

薬効分類	医薬品名	休薬期間
経口避妊薬	アンジュ２８錠	手術前４週間以上
	ファボワール錠２８錠（院外）	手術後２週間以上
骨粗鬆症治療薬	エビスタ錠６０ｍｇ	長期不動状態に入る３日前には休薬し、完全に歩行可能になるまで再開しない
	ビビアント錠２０ｍｇ（院外）	
抗悪性腫瘍薬	ヒスロンＨ錠２００ｍｇ（院外）	手術後１週間以上

　その他、黄体ホルモン薬、卵胞ホルモン薬、月経困難症治療薬などは周術期に際して慎重投与と記載されています。また、未採用薬の女性ホルモン薬も多数ありますので、ご不明な点等は薬剤部（内線１３００）までお気軽にお問い合わせ下さい。